

朽木平良の大トチ観察会

2013年7月23日（火）、親子環境学習、朽木平良の大トチ観察会が開催されました。今回は17家族45名の親子の皆さんが参加しました。びわ湖トラストからはスタッフ5名がサポートとして参加しました。バスと自家用車で平良ふれあいセンターに集合し、10時からのオリエンテーションの後、いよいよ学習プログラムのスタートです。



巨木と水源の郷をまもる会の会長である青木先生の軽妙なお話でトチの木のことをいろいろ教えてもらいました。トチの木の生態、滋賀県にトチの巨木が多数あること、それを守ることが大切だということなどを学びました。



青木先生のお話をきいた後、いよいよ大トチの木へ向かって出発です。猛暑日が続いていますが今日の平良はうす曇りで時々陽が射しそよ風もあるという天気で、みんな元気に山道を歩きました。休息もかねて途中で幾度か立ち止まり青木先生から周りの草木について教えてもらいました。



センターを出発後、緩やかな山坂を上ること約45分、大トチの木が見えてきました。近づいてみるとなるほど大きな木です。幹の周りを測ってみるとおおよそ7mありました。



みんなでトチの木の近くに集まって記念撮影です。



往きと同じ道を下ってセンターへ戻り、昼食場所の針畑郷山村都市交流館「山帰来（さんきらい）」へ向

かいました。12時45分に山帰来に到着し昼食をとった後、山帰来の前にある小川で水遊びをしました。



川の中の生きもの探しではたくさんのイモリが見つかりました。おなかは赤いですね。小さなカエルもいました。手造りの小さなソーラーボートを持参して走らせた人もいました。



水遊びを終えて15時に山帰来を出発、いきものふれあいの里センターに戻り展示された動物のはく製や標本を見学しました。センターの館長でもある青木先生から再び朽木の動物についていろいろ教えてもらいました。



すべてのプログラムを終え、センター前で記念撮影をして16時15分に解散、帰途につきました。



終了後のアンケートでは、山の中を歩けたこと、トチの木や植物の話を解かりやすく教えてもらったこと、水遊びが楽しかったことなど、親子の回答者全員から好評を頂きました。この季節としては快適といってよい天候に恵まれ、親子ともども自然に触れ合うことができ、楽しむとともにびわ湖にとって自然保護の大切さを学んだ一日でした。

最後に今回共催頂いた平和堂財団、後援頂いた巨木と水源の郷をまもる会、県立朽木いきものふれあいの里に感謝いたします。

(藤田理事 記)